

新潟大学人文・法・経済学部同窓会会津支部

# 会津支部だより (第九号)

平成二十九年三月一日発行

## おかげさまで会津支部創立10周年

### 6月10日(土)に記念総会開催

支部長 町田久次

わが会津支部が、福島県会津という地域エリアで活躍する新潟大学人文・法・経済学部同窓生つどいのもと、平成19年6月2日に誕生してから、今年で「10周年」という節目を迎えることになりました。

小さな集団にもかかわらず、結束力の強い支部として、ここまで実績と広がりを感じることが出来たことに、感慨深いものがあります。これもひとえに、支部結成にご尽力くださった小松忠夫・前支部長(昭和30年人文卒)をはじめ創立役員のメンバー、並びにご参加いただいた同窓生各位はもちろんのこと、同窓会本部の温かいご支援とご協力のたまものであります。

10年前の資料を見ると、平成19年4月5日に、会津若松駅前フジビルで開催された「会津支部結成幹事会」は、小松忠夫さんと森文雄さん(会津大学短期大学部、前副支部長、昭和44年経済卒)、小野寺克司さん(小野寺漆器店、前事務局長、昭和46年経済卒)の3人が世話人となり、このほかに、羽田喜久馬さん(会津若松市役所)、小沢清辰さん(会津信用金庫)、桑原義博さん(福

会津支部だより  
第9号  
平成29年3月1日

編集発行  
新潟大学  
人文・法・経済学部  
同窓会会津支部  
(発行人) 町田久次  
(事務局)  
会津若松市川原町2-26  
☎ 090-2026-8442  
(鈴木伸康宅)

島県庁)、大堀義之さん(東邦銀行)らの名前が幹事として挙がっております。

当時、福島県には同窓会の組織がどこにも作られておらず、まず比較的まとまった地域であり同窓生の多い会津地区に支部をとめることで、話が進んだようです。周到な準備が前年秋から何度か重ねられて、平成19年6月2日、晴れの結成総会を迎えたのであります。支部は、16年に首都圏支部、長岡支部、17年に東北(仙台)支部が誕生したばかりで、会津支部は、同窓会全体でも4番目という、実に早い段階のものであります。

それから10年。忘れられないのは、平成23年の東日本大震災に際し、同窓会本部や首都圏、長野県、山形県各支部などから多大なるご支援を頂戴したこと。特別助成金や亡くなった同窓生遺族に弔慰金、建物損壊に対するお見舞い、激励訪問など、物心両面にわたるご支援をたまわりました。会津支部や被災者にとつても、いかに勇気づけられ、そして、同窓会という有り難い心の絆を感じたことか、改めて感謝申し上げます。

この東日本大震災を契機に、私たちの同窓会活動は大きな刺激を受けて、ひとつの充実・発展期を迎えたと言っても決して過言ではありません。

また、私も会津支部がひとつの原動力となつて、平成27年には空白だった中通り・浜通りをエリアとする「福島県中央支部」も結成にこぎつけ

ることができました。これも大きな成果です。そんな、様々な思いを胸に、会津支部結成10周年記念総会が、いよいよ6月10日(土)午前11時より、会津若松駅前・会津迎賓館において開催されます。事務局では、あれこれと多彩な企画を練っております。どうぞ、多くの同窓生各位のご参加をお待ちしております。

## 平成28年度会津支部定期総会開催

新潟大学人文・法・経済学部同窓会会津支部定期総会は、平成28年6月11日に会津迎賓館にて開催いたしました。本部同窓会からは瀬賀孝子副会長、大学からは斎藤陽一文学部長にお越しいただき、また支部間交流として、福島県中央支部、山形県支部、長野県支部、群馬県支部から来賓をお招きしました。

総会では、28年度の事業計画・予算が全会一致で承認され、また、奥会津地域おこし協力隊 志賀薫さん(平成21年教育学部卒)を講師として、「地域おこし協力隊がみる会津の可能性」と題して、講演をいただきました。



29名の参加で盛り上がりました  
同窓会の発展を願って また元気で会いましょう

## 随想 5年目になつて

秋山 美紀

平成24年経済学部卒

平成24年経済学部卒の秋山美紀と申します。私は、自然豊かな猪苗代町で生まれ育ちました。高校卒業後は、県外の大学に行きたい！と思うようになり、兄も通っていた新潟大学に進学しました。

初めての一人暮らしで、最初は寂しくて実家に帰りたと思う毎日でしたが、サークル活動や飲み会などで友達も増え、振り返ると楽しい学生生活だったなあと思います。

その中でも、やはり卒業旅行が一番の思い出です。卒業旅行では、ハワイやセブ島に行き、もつといろんな国に行つてみたいと思うようになりました。

就職してからも年に一度取れる連続休暇を利用して、同期の人と、グアムやシンガポール、オーストラリアなどに行きました。去年は沖縄に行き、毎年の楽しみの一つとなっています。



私の隣にすわる人は？ 沖縄にて

もちろん、学生時代は楽しい思い出だけではなく、一番辛かったのは、就職活動。3年生の秋から合同説明会が始まり、経済学部ということもあり、金融機関を希望していました。これから本格的に就職活動が始まる、そんな時期に東日本大震災が起こりました。就職活動は延期になるところもあり、厳しい状況が続きましたが、無事希望していた金融機関に就職することができました。

就職して3年間は、支店で窓口業務を担当し、4年目で本部に異動になりました。支店とは違う仕事内容で、新人職員に戻った気持で頑張っています。

卒業して5年。大学時代の友達に会いたいなと思いつつも、なかなか会えていないので、今年こそはいろんな人に会いに行きたいなと思います！

## 随想 大学時代を振り返つて

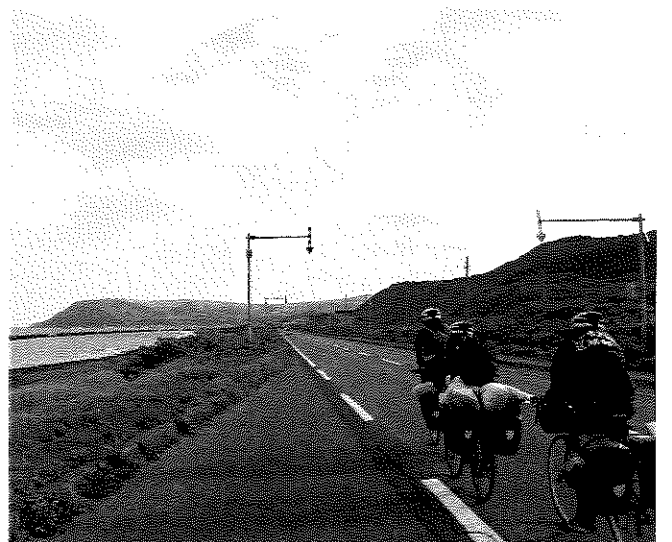
荒川 堅吾

平成26年経済学部卒

大学時代を振り返ると、部活動のことばかり思い出します。

部活動というと、ハードな練習を想像するかもしれませんが、私の所属していたサイクリング部は、ツーリングを主な活動内容としており、最近人気の弱虫ペダルのように、全国大会でのアツイ戦いを目指してトレーニングに励んでいたわけはありません。

毎週の定例活動といえば、ミーティングと称して教養棟に集まり、今度の合宿はどこに行くんだか、スケジュールを一通り確認した上で、宅飲み



日本最北端への道中

に行つて、部員間の親睦を深めることでした。割合的には、ミーティング2に対して宅飲み8程度と非常に緩い雰囲気の中での活動でしたが、夏休みと冬休みには大きな合宿があり、北海道、東北、信州、四国、九州の中の一方部を、2週間かけて集中的に旅しました。

貧乏学生で、その間の寝泊まりや食事は、ほとんどが公園などの野宿、自炊でしたので、物珍しさからか、いろいろな人が寄つてきたり、親切にしてくれたりしたものです。

朝起きると、ラジオ体操のおばさんたちにテントを囲まれていて、一緒に体操させられたり、氷点下の中テント泊していると、「何かの訓練ですか？」と自衛隊に間違えられたり、見ず知らずのオジさんにお小遣いをもらったり……思い返すと、非常に刺激的な日々を過ごしていた

のだなあとしみじみします。  
卒業して早2年、会津の盆地特有の気候にかまけて、すっかりロードバイクに乗る回数が減ってしまいました。今年、佐渡ロングライド(佐渡を自転車一周するイベントです。)出場を目標に、自転車通勤の割合を増やせたらと思っています。

## 随想 哲学を学ぶ

原 利正

昭和57年人文学部卒

私が、新大に入学したのは1978年(昭和53年)。その頃は、まだ学生運動の残り火もあり、キャンパスは、雑然としていたが活気もあったように思う。

私は初めての一人暮らしで、部屋は木造アパートのトイレ・風呂なしの間であった。自炊だが、料理の経験がなかったので、苦労した思い出がある。しかし、今学生で一人暮らしの息子は、ネット上で調理方法を調べて、結構料理を楽しんでいるとか。部屋もトイレ・風呂にエアコン付きである。隔世の感がある。

さて、在籍した哲学科は少数で、先生方や同期との交流も密であった。酒が付きもので、二日酔いもたびたびあった。

哲学科の恩師の中でよく思い出すのは、深沢助雄先生である。先生からは、専門の哲学の枠を超えて、学問の意味や楽しさ、厳しさを教えていただいた。試験も変わっていて、テーマは自由で時間無制限の小論文というもので、悪戦苦闘したも

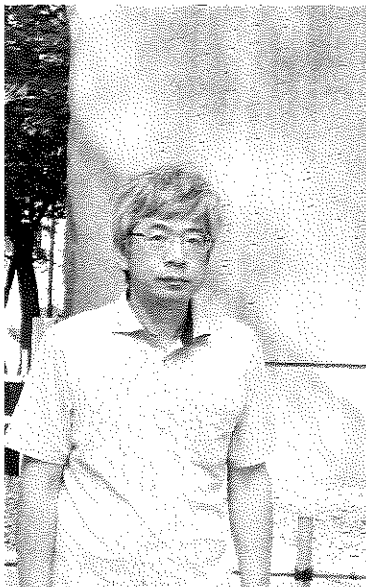
のである。また、学科は違うが、印象深い先生に澤登佳人先生がおられる。先生の講義は、刑法でありながら物理学にも及び、むしろ哲学の講義のようであった。

私たちの学んだ哲学は、実生活ですぐに役にたつというものではない。しかし、哲学を学ぶということは、「ものの考え方」そのものを身につけるといふことなので、それがその後の人生に役立っていると感じているところである。

大学では教員免許を取得したが、結局喜多方市役所に入ることとなった。今は、市立こども園の園長である。保育の経験もないのに、先生方を指導しなければならぬ立場だが、昔学んだことが多少は役立っているようである。

今は、同期の友人とはほとんど無沙汰で、新大のことを意識するのは、同窓会の会報が来たときくらいである。市役所の同窓生で懇親会をやりたいと思いつつやれていなかったのだが、昨年、期せずして会津支部の声かけにより開催できたことは、思いがけない喜びであった。

定年まであと少し。改めて、同期、同窓との交流を深めていくのも悪くないと、最近思ってきたところである。



優しい園長先生と評判です

## 会津支部の足跡

- 平成19年度 ▽設立総会6月2日 会津迎賓館
- ▽本部合同秋の青松ウオーキング大会参加(柳津・三島町)
- 平成20年度 ▽総会6月8日 東山温泉龍之湯
- 講演「会津と上杉」野口信一氏 ▽「天地人ウオーキング大会」参加(山形県) ▽会津支部だより創刊号発行
- 平成21年度 ▽総会6月6日 東山温泉御宿東鳳 フルトアンサンブルコンサート花咲里
- ▽新潟大学創立60周年「三春の蒲葎」記念植樹
- 平成22年度 ▽総会6月19日 東山温泉御宿東鳳 講演「共生と地域を考える」シルクロードの壁画から 関尾史郎人文学部長
- 平成23年度 ▽東日本大震災復興応援「会津の歴史と文化財めぐり」 ▽東日本大震災に伴う支援、弔慰金、見舞金贈呈、被害の調査、首都圏支部との合同ウオーキング ▽総会10月29日 東山温泉御宿東鳳 会津大学管弦楽団トルチエミニコンサート
- 平成24年度 ▽総会6月2日 東山温泉御宿東鳳 講演「まちづくりと地場産業、地域経営の論点」森文雄会津大学短期大学教授
- 平成25年度 ▽総会6月16日 会津迎賓館 紙芝居「新島八重物語」上演 ▽首都圏支部総会、本部同窓会60周年記念総会で会津の物産展開催
- 平成26年度 ▽総会6月15日 会津迎賓館 講演「江戸時代の若松城と藩主の暮し」近藤真佐夫市教委文化課主幹 ▽新潟大学生とOB・OGの就職懇談会 コラッセふくしま
- 平成27年度 ▽総会6月13日 会津迎賓館 講演「会津発起業教育プログラム」ジュニアエコノミーカーレッジ」吉川哲也NPO法人理事長

# 「喜多方会」開催に寄せて

齋藤 謙市朗

平成6年経済学部卒

平成6年3月に卒業し、まもなく23年が経過しようとしている。支部だよりへの寄稿依頼を受け、四半世紀前の大学生活を思い起こしてみたいが、活字にし記録に残る形になることに抵抗のある思いばかりで、筆が重くなる。私の大学生活に関して別の機会に触れることとし、今回は同窓会に対する私の思いについて記してみたい。

卒業後、喜多方市役所に勤務し現在に至るが、昨年の11月、会津支部事務局長の鈴木様のご配慮により、新潟大学を卒業した市職員や市議会議員の方々等と一献交わしながら、交流を持つことができた。市職員で集まることも初めてであったが、年代は違えども共通する話題も多く、有意義



喜多方から同窓生の活躍を祈念  
後列右から3人目齋藤 2人目渡部です

な時間を過ごさせていただいた。普段は、議場において、真剣かつ徹しいまなざしで発言される議員の方々の穏やかな表情も印象深い。

人は、仕事や家庭など一人ひとりが異なる環境で生きているが、自分ひとりでは生きていくわけはない。今回の交流により、良い距離感となった皆様との関係性を深め、自分自身に生かしていきたいと思う。

様々な活動で、人との交流を広げていくことはできるが、同じ大学を卒業した方々と触れ合えることは、共通の話題も多く、打ち解けることに多くの時間を要しないであろう。ここに、同窓会の魅力の一つがあると考える。

この同窓会に多くの方が参加し、活発になることを祈念し、筆を置くこととする。

渡部 一樹

平成17年法学部卒

初めて会津支部にお誘いいただいたから、早いもので数年の月日が経過しました。この間、大学の先輩・後輩という関係の上に、さまざまなお付き合いをいただきましたこと、この場をお借りしまして感謝申し上げます。引き続きご指導をよろしくお願いいたします。

さて、今年の支部活動におきましては、「支部の交流拡大と継続的発展」のための活動だったと勝手に思い込んでおります。特に、事務局長の鈴木様には積極的にお声掛けとサポートをいただき、誠にありがとうございました。

10月に開催されました「若手会」、11月に初の地元開催がかないました「喜多方会」に参加させていただいたことは、今後の支部活動に弾みがついたのではないかと考えております。

「若手会」では、後輩の皆さんと交流を持てたこと、「喜多方会」では、これまでなかなか総会等にご参加いただけなかった先輩方に多数ご出席いただくことができました。これをきっかけとして、喜多方地域における同窓生の繋がりが深まっていってほしいことを願っております。

結びに、今後の支部活動がより充実され、会員相互の親睦がより深まるよう、私も引き続き協力させていただきたいと思っております。来年度もよろしくお願いたします。

編 集 後 記

11月18日、喜多方市役所職員8人、喜多方市議会議員3人、支部役員2人の参加で「喜多方会」が盛会のうちに終了しました。

従前から喜多方市役所では、会津若松市役所の「砂山会」のようにいつか集まりたいねと話していたところ、大変いい機会をいただいたと喜んでいただきました。また市議会議員のうち2人は、農学部卒で、昔の新大農学部の大変興味深いお話をさせていただきました。今後の方向性としては、喜多方で組織化していただき、われわれが、人的、経済的な支援、交流をするのが望ましいと感じました。

さて、28年度総会では、福島県中央支部の鈴木博幸さん、山形県支部の志賀康芳さん、見立正之さん、長野県支部の堀籠義雄さん、群馬県支部の清水淑光さん、お忙しいところご出席くださいましてありがとうございます。記念品の会津漆器も皆さんを待っています。総会で講演をいただいた、志賀薫さんを招いての「若手会」も開催しました。気になるのは、只見線のことです。鉄道大好き人間としては、一日も早い復旧を望みますが、将来を考えて、地元負担のことも十分話し合ってくださいますようお願いいたします。

(事務局長鈴木 伸康)